

「成長ホルモン在宅注射に関するアンケート調査」についての研究のお知らせ

2018年3月から7月までに、芳賀赤十字病院小児科に通院中で成長ホルモン在宅注射を実施しているお子様、ご家族を対象としてアンケート調査を行いました。そのアンケート調査を解析する研究を行っていることをお知らせします。

1. 研究の意義と目的

成長ホルモン分泌不全性低身長、SGA 性低身長、Turner 症候群、軟骨異栄養症などの疾患では、成長ホルモンの在宅注射が必要となる場合があります。成長ホルモン治療では注射の怠業や中断をしてしまうと治療効果が有意に低下するとされており、お子様とご家族がいかに確実に治療計画を遵守し、意欲的に治療を継続できるかが重要です。しかし、成長ホルモン治療は生命予後には影響せず、注射をしなくても症状の出現もないため、怠業や中断も散見されます。年長児になっても自己注射への移行がすすまず、ご家族の負担になってしまっていることも多い現状です。

そこで、成長ホルモン在宅注射を実施しているお子さま及びご家族へ実施したアンケート調査を解析し、怠業につながってしまう原因、自己注射の実施状況、治療への理解、不安な点などを把握し、意欲的に成長ホルモン治療を行い、自己注射への移行のきっかけになる方法を検討することを目的として本研究を行います。

2. 研究の方法

芳賀赤十字病院小児科通院中で成長ホルモン治療を行っているお子様、ご家族を対象とし、2018年3月から2018年7月までアンケート調査を任意で実施しました。さらに、2018年3月の成長ホルモン在宅注射キャンプに参加していただいたお子様、ご家族には、キャンプの前後でアンケートを行いました。それらのアンケート調査から、以下の項目を解析します。

性別	現在の年齢	治療開始 の年齢	在宅注射を実施 している家族	怠薬の頻度
治療や疾患に対する 理解の程度	治療への不安お よび不安内容	自己注射 への希望	キャンプ後の自 己注射実施状況	使用中の製剤

3. 個人情報の保護について

このアンケート調査は匿名で実施しており、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのかわかりません。患者さん個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となる患者さんお一人お一人へのご説明は致しませんが、ご自分の情報をこの研究に用いられたいとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいて患者さんへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。この研究は2020年3月31日までを予定しており、研究期間終了後は得られた

情報は診療実績情報として保管します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 増田卓哉、齋藤真理

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323